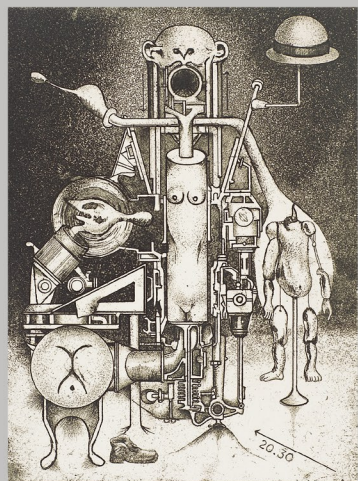


足利市立美術館所蔵・浅川コレクション

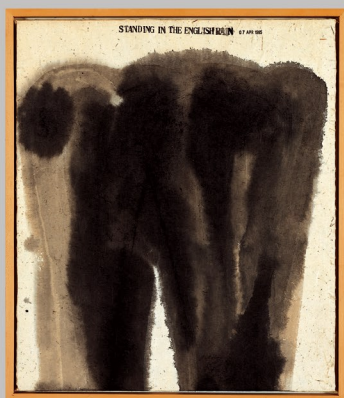
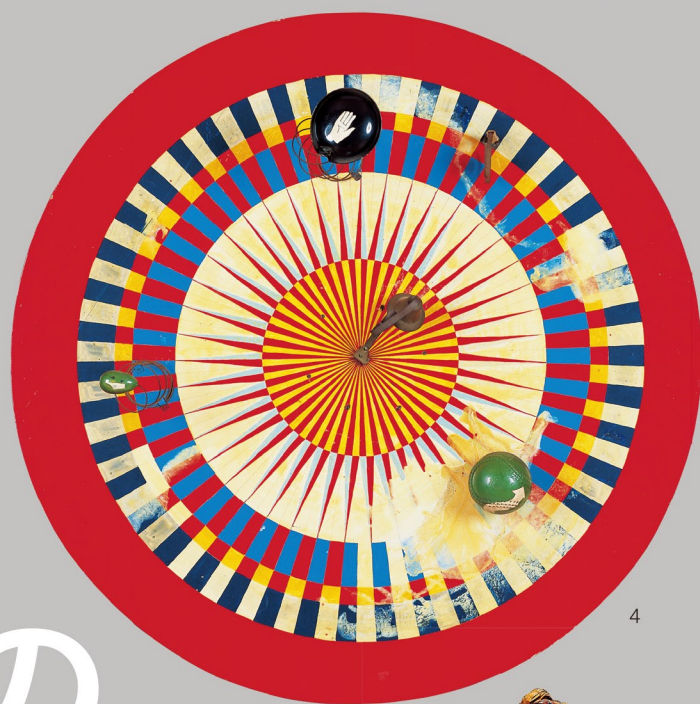
ASHIKAGA MUSEUM OF ART, ASAKAWA COLLECTION
THE HEARTBEAT OF THE "AVANT-GARDE" CHASING DREAMS

夢を



追いかけた

“前衛”



の鼓動



2025 1.4 [土] ▶ 2.24 [月・休]

開館時間 | 10:00 - 17:00 (入場は16:30まで)

休館日 | 月曜日、1月14日 [火] (ただし1月13日 [月・祝]、最終日の2月24日 [月・休] は開館)

観覧料 | 一般800円 (640円) / 高大生500円 (400円) / 中学生以下無料
() 内は20名以上の団体料金。市内在住・在学の高校生、市内在住の65歳以上の方、
各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料。受付に証明証をご提示ください。

主催 | 碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会

共催 | 朝日新聞社 協力 | 足利市立美術館、浅川邦夫氏

1. 池田龍雄《玩具世界 其之3 稚拙な帽子掛》1969年 / 2. 遠藤昭《Apple Cage'86》1986年 / 3. 赤瀬川原平《一つの紙片から 深入りしすぎた観光バス》1963年 / 4. 菊畑茂久馬《ルーレット》1964年 / 5. 三木富雄《EAR 312》1966年 / 6. 鍋田庸男《STANDING IN THE ENGLISH RAIN》1985年 / 7. 篠原有司男《オートバイ》1992年 / 8. 中西夏之《コンパクト・オブジェ》1962年

碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

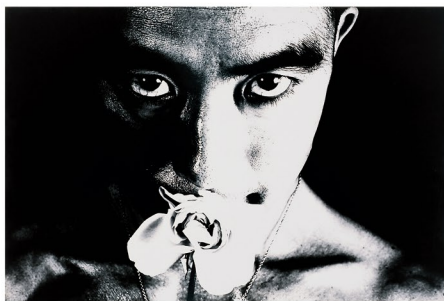


いつまでも新鮮だね。

いつまでも新鮮だね。



1



2



3



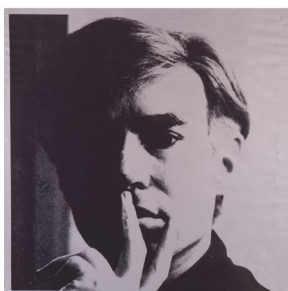
4



5



6



7

1.フリードリヒ・シュレーダー=ゾンネンシュターン《おんどのいる形而上学》1962年 © VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2024 X0305 2.細江英公《薔薇刑》1961年 3.鯨嘔《レインボーグラス》1966年 4.澄川喜一《MASK》1972年 © Shimane Prefecture, Iwami Art Museum 5.ロバート・ラウシェンバーグ 作品名不詳 1972年 © Robert Rauschenberg Foundation / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo, 2024 X0305 6.清水晃《漆黒から》1993年 7.アンディ・ウォーホル《自画像》1966年 © 2024 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo X0305

浅川邦夫氏(1932-)は、日本における現代美術の創生期を担った『南画廊』(1956-79)に開業から12年あまり勤め、その後2003年まで、自身が設立した『画廊春秋』(1968-2003)を35年にわたって経営しました。画商として生きた半世紀のあいだに、様々な作家と出会い、その交流の中で作品の蒐集を続けます。1994年4月、足利市立美術館が開館すると74点のコレクションを寄託しました。その内容は、浅川氏と同世代の作家である三木富雄・中西夏之・工藤哲巳・菊畑茂久馬・清水晃・篠原有司男の作品とゾンネンシュターン・ベルメール・フォトリエなど海外作家の作品で構成されていました。さらに翌年には、浅井忠・梅原龍三郎・前田寛治・駒井哲郎・加納光於ら近・現代作家約200点をはじめ、美学校関係作家作品約250点、細江英公・羽永光利ら写真家の作品約100点のほか、浮世絵・ポスターなど約80点を寄託しました。700点に及ぶコレクションは、2019年に同館へ寄贈されることとなり、現在では900点を越える一大コレクションを形成しています。

本展では、その膨大なコレクションの中から“前衛”と呼ばれた時代(1960年代-1970年代初頭)に活躍した作家の作品を中心に、国内外の現代美術作家による珠玉の作品を借用し、3章に分けて展示・紹介します。

ギャラリストでもある厳しい目をもつ一人のコレクターを通して蒐集された作品群の豊かな表現に触れることで、難解といわれる現代美術をより深く理解していただく契機となれば幸いです。

第1章 『南画廊』と浅川コレクション 1956-1967

第2章 画商・浅川邦夫とコレクション 50years

第3章 『画廊春秋』と浅川コレクション 1968-2003

関連イベント

■記念コンサート



1960年代、世界を席卷したビートルズ・サウンズ!
演奏 | アコースティック・ミカ・バンド
日時 | 2025年1月11日(土) 15:00~16:00
場所 | 1階・喫茶コーナー
参加費 | 無料
定員 | 50名(先着順)

■記念鼎談

演題 | 魅力的なコレクションのエピソード
講師 | 浅川邦夫氏(コレクター)
江尻潔氏(足利市立美術館・次長/学芸員)
篠原誠司氏(足利市立美術館・学芸員)
進行 | 木本文平(碧南市藤井達吉現代美術館・館長)
日時 | 2025年2月8日(土) 14:00~15:30
場所 | 地下1階・多目的室B
参加費 | 無料
定員 | 60名(先着順)

■ギャラリートーク

担当学芸員による展示説明会

1月18日(土)、25日(土)、
2月1日(土)、15日(土) 14:00~約30分
予約不要。観覧券をお持ちの上、2階ロビーにお集まりください。

■ワークショップ

実験! 一絵の具をプレスー

絵の具をアクリル版ではさんでできた形をアート作品にしてみよう。あなたも前衛芸術家の魂に迫ることができるかも?まずは楽しく造形実験。

日時 | 2025年1月12日(日)
①10:30~12:00 ②13:30~15:00
場所 | 地下1階・創作室
対象 | ①小学生②一般(小学4年生以上)
参加費 | 100円
定員 | 各12名(先着順)

■カフェ「むぎの家」

本展会期中、美術館1階の喫茶コーナー・むぎの家では、アヴァンギャルドなメニューを提供します。詳細はwebサイトをご確認ください。

記念コンサート、記念鼎談、ワークショップともに12月5日(木) 10:00より受付を始め、定員になり次第締め切ります。電話にて①氏名②電話番号③参加人数をお知らせください。お申し込みに当たってお知らせいただいた個人情報受講管理の目的のみに使用します。

■公式ホームページ・SNS



美術館HP



Instagram

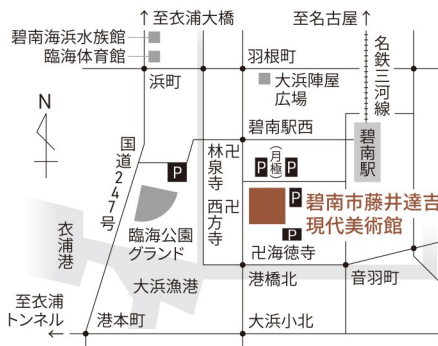
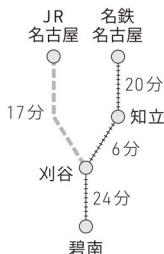
お問い合わせ

碧南市藤井達吉現代美術館

〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
TEL | 0566-48-6602 FAX | 0566-48-6603
E-mail | museum@city.hekinan.lg.jp
<https://www.city.hekinan.lg.jp/museum>

交通案内

○名鉄線ご利用の場合:名鉄名古屋本線「知立駅」乗換、三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩約6分
○JR東海道線と名鉄線ご利用の場合:JR「刈谷駅」乗換、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩約6分
○知多半島道路・阿久比インターから車で20分(衣浦大橋を渡って右折)
※駐車台数に限りがございますので、公共交通機関等をご利用ください。



次回の企画展

新収蔵品展(仮) 4月1日(火) - 5月11日(日) [予定]